

かごしま地域多職種連携勉強会のご案内

医療法人 ナカノ会
理事長 中野 一 司

この度、当医療法人ナカノ会（ナカノ在宅医療クリニック、ナカノ訪問看護ステーション）は、厚労省の平成 24 年度在宅医療連携拠点事業に採択され、事業所名をナカノ在宅医療連携拠点センターと命名しました。

この厚労省の在宅医療連携拠点事業は、1) 教育活動と、2) ICT（情報）システムの有効活用により、多職種連携で機能する地域連携ネットワーク型在宅医療システム（地域包括ケアシステム）の構築を目指すもので、これは、開業以来医療法人ナカノ会が過去 12 年間持ち続けてきた開設理念でもあります。

ナカノ在宅医療連携拠点センターの開設理念は、過去 12 年間医療法人ナカノ会で構築してきた経験、知識を、広く鹿児島市地域に開放し、鹿児島市民と医療・介護サービス提供者、行政が協働して、鹿児島市内に地域包括ケアシステムを構築しようとするものです（表）。つきましては、1) かがしま地域多職種連携勉強会を立ち上げ、2) メーリングリスト（CNK-ML、ケアネット薩摩）、クラウド・コンピューティングによる鹿児島市民と医療・介護サービス事業所、行政の地域での情報交換、情報共有を目指します。

今回は、これらの活動の手始めとして、第 1 回かがしま地域多職種連携勉強会を開催しますので、多数の皆様のご参加（どなたでも参加可）をお待ちしております（参加費無料、事前参加登録不要です）。

（表）ナカノ在宅医療連携拠点センターの開設理念

- 1、医療法人ナカノ会（ナカノ在宅医療クリニック、ナカノ訪問看護ステーション）で開業以来過去 12 年間構築してきた多職種連携で機能する地域連携ネットワーク型在宅医療システムで得た経験、知識を、鹿児島市地域全体に拡充を図り、鹿児島市内での地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療連携拠点として機能する。
- 2、積極的な ICT の活用により、鹿児島市内の鹿児島市民と医療・介護サービス提供者、行政の情報交換、情報共有を図り、教育、啓蒙支援を行うとともに、多職種連携で機能する効率的な医療・介護サービスシステムの構築を目指す。
- 3、在宅医療・介護の研究、教育支援機関として機能する。

第 2 回勉強会：9 月 22 日（土）午後 5 時半から；城山観光ホテル（参加費；無料）

村上智彦先生（夕張希望の杜）

